

2011(平成23)年度事業報告(2011年4月1日～2012年3月31日)

昨年3月11日に発生した東日本大震災を受け、被災地支援活動に取り組む中で、2011(平成23)年度がスタートしました。その直後には、栃木県鹿沼市でクレーン車による悲惨な交通事故が発生し、協会はてんかんと運転免許について社会にアピールする活動にも積極的に取り組みました。また年度末には、NHKの番組で高齢者のてんかんが取り上げられたことから、中高年世代からの問合せが協会に殺到するなど、年間を通しててんかんをとりまくさまざまな課題が社会的なテーマとしてクローズアップされる1年でした。

社会背景では、2009年の政権交代による新しい政府により、慢性疾患や障害のある人を取りまく環境が大きく変わることが期待される中で、てんかんのある人も社会の一員として尊厳ある生活を求めることができる制度づくりの模索が始まりました。しかし、多くの議論が交わされ新たな方針が示されながらも、実際には予算の裏付けが伴わないなど、厳しい状況はなかなか変わりませんでした。また、私たちの生活も経済的不安の影響を受け、決して先行きが明るいことばかりではありませんでした。さらに、医療・福祉・保健・労働・教育の各分野において、てんかんを正しく理解する専門職の不在が課題であり、2012年度の新たな取り組みに向けた検討を始めました。

このように社会全体が停滞する背景の中で、協会は公益社団法人への移行に向けた準備を進め、合わせて組織改革の議論を行いました。事業では、てんかん月間の取り組み、マスコミや関係団体などと協働をした社会啓発活動、そして、アジア・オセアニア地域との交流を重点とした国際活動に、積極的に取り組みました。また、当事者や家族支援の活動も、さらに検討を進めました。

なお、年度当初に計画した活動の中で、人的・財的な不足などもあり、今年度中の実施に至らなかったり、成果を得られなかった事業もあります。これらについては、今後の活動の中で引き続き実現に向けた検討を進めて参ります。

以上につきまして、社会的背景、特筆すべき取り組み、実現に時間を要する活動として、下に要点をまとめました。

1. 社会的背景

- ①東日本大震災の発生と被災地支援活動
- ②クレーン車事故を始めとする度重なる交通事故の発生による運転免許の取得と社会生活上の不均衡の問題
- ③てんかんを正しく理解する各種専門職の不在(社会資源マップの作成の必要性)
- ④長く続く不況などの経済的不安による働く場の確保の困難さ
- ⑤補助金、助成金事業の先細り
- ⑥新政府の方針(「障害者基本法」や「障害者自立支援法」の改正、実現可能性の少ない予算裏付けと課題の多い議論)

2. 特筆すべき取り組み

- ①公益社団法人への移行の基本方針を確定
- ②てんかん月間における「中央キャンペーン」など社会啓発活動の定着
- ③てんかん学会との連携強化(関係医療機関へのポスター配布、合同会議の定例化)
- ④マスコミと連携した活動(特集や連載への関与、記者への啓発活動)
- ⑤当事者・家族支援に向けた具体的なプログラム実施の模索(MOSE Sの活用、専門職の養成、など)
- ⑥国際活動の活性化(アジア・オセアニア地域との交流、ことばの問題の解消に向けて)
- ⑦支部活動への積極的な指導

3. 実現に向け継続的に努力を要する活動

- ①インターネット環境の整備(ホームページの充実、会員サービスの見直し)
- ②学校教育現場へのアプローチ
- ③会費依存体質の見直し
- ④新たな支部活動のあり方、役員の発掘
- ⑤名簿管理、地域ネットワークづくりの見直し

以下、今年度内に計画をした事業の内、次の事業を実施しましたので報告いたします。

社会啓発事業

月刊「波」の発行

※JKA競輪補助事業(全国財団経由)

- 1). 毎月7,500部発行(通巻488号～500号)／B5版・本文36頁
- 2). 通巻500号記念事業(記念号・協賛広告) ★
- 3). チラシの作成
- 4). 編集委員会の開催(毎月)／委員12人

支部機関誌紙の発行・交流

- 1). 各支部の特徴を生かした紙面作りで、継続をして発行した。

小冊子・ビデオの作成・広報

- 1). I E NEWS日本語版(季刊)発行／B5版・本文20頁、7,400部 ※大日本住友製薬協賛事業
- 2). 入門シリーズ④「最新版よくわかるてんかんのくすり」作成・発行
B5版・本文80頁、各4,000部作成・配布 ※JKA競輪補助事業(全国財団経由)
- 3). 「抗てんかん薬ポケットブック」(改訂第3版)の発行
三島信行監修、ポケット版・104頁、12,000部作成 ※製薬企業19社からの協賛事業
- 4). 既刊書籍・小冊子・ビデオ追加作成(てんかんと療育、など)
- 5). 既刊ビデオのインターネット配信

各種パンフレット等の活用・作成

- 1). 協会活動広報PRビデオの活用
- 2). コミュニケーション・ツール「患者さんの生活の質を高めるために」(付録／てんかん治療に関する質問票)を全国へ配布(A5版・本文8頁+質問票2頁) ※グラクソ・スミスクライン協賛事業
- 3). 「緊急カード」増刷分の周知・配布 ※日本てんかん学会協力事業
- 4). てんかんと正しく知ってもらうための各種啓発資材の作成・配布
- 5). てんかん学会会員の医療機関に対しポスターを配布
運転免許と自立支援医療の制度紹介Ver・A2版、各2,200部作成
- 6). ホームページ(HP)での協会資料のダウンロードを実施

てんかん関連書籍の頒布

- 1). 支部活動と連携をした書籍紹介・頒布
- 2). 関連優良図書を受託販売
- 3). 出版社と連携をした書籍の発刊
 - ①. 保健同人社発行本の監修と広報・買取／キーワードから読み解く「やさしいてんかんの本」(山内俊雄著、A5版・200頁、500部購入)
 - ②. クリエイトかもがわ発行本の増刷と広報・買取／てんかん入門シリーズ①「てんかん発作-こうすれば大丈夫 発作と介助」(川崎淳著、B5版・本文84頁、3,000部購入)
- 4). 関係団体事業や関連学会会場での協会ブースの設営と出張販売
- 5). 日本図書館協会と連携をして、全国の公立図書館に「波」を送付する事業に着手 ★

「第34回てんかん基礎講座」の開催

※大塚製薬・ユーシービージャパン協賛事業

- 1). 基礎講座企画委員会の実施
1. 大阪会場
 - 1). 日時：8月4日(火)～5日(水)
 - 2). 会場：大阪商工会議所
 - 3). 参加者数：487人
2. 東京会場
 - 1). 日時：8月9日(木)～10日(金)
 - 2). 会場：大田区産業プラザPiO
 - 3). 参加者数：478人

3. テーマと講師

- 1). てんかん発作とてんかんの基礎／石田重信（久留米大学）
- 2). てんかん発作の介助／川崎淳（川崎医院）
- 3). てんかんの薬物療法／笹川睦男（西新潟中央病院）
- 4). てんかんと間違えられやすい病気／兼本浩祐（愛知医科大学）
- 5). 発達障害のあるてんかん児の支援／杉山修（静岡てんかん・神経医療センター）
- 6). 高次脳機能障害のリハビリテーション／柳原幸治（東京都リハビリテーション病院）

4. その他のプログラム

- 1). 本人からの訴え、家族からの訴え
- 2). てんかんで運転免許の情報提供
- 3). 参加者交流会
- 4). 質疑応答

支部におけるさまざまな講座の開催

1. 毎月「波」誌上にて告知・報告
2. 協会HPでも周知
3. 全国47支部で年間を通じて実施

「てんかんを正しく理解する月間（てんかん月間2011）」の実施

- 1). 期間：11月1日～30日
- 2). パンフレット（カラー・ハガキ大・6頁）・チラシ（A4版）・ポスター（A2版）などの配布
- 3). 中央街頭キャンペーンの実施
※東京都共同募金会寄付金配分事業、製薬企業5社からの協賛事業
 - ①開催日：11月20日（日）10時～16時
 - ②開催地：新宿西口駅頭、新宿西口イベント広場（B1F）
 - ③参加者総数：当事者アピール延47人、ボランティア参加50人、クイズラリー参加約450人、専門相談12人、イベント広場来場者約500人
- 4). 全国大会における中央集会（記念式典）の開催
 - ①開催日：11月26日（土）12時30分～13時30分
 - ②開催地：さん太ホール
 - ③参加者総数：450人
- 5). 木村太郎記念賞、功労賞の贈呈
 - ①木村太郎記念賞：岡鏑次（岡山大学名誉教授、岡山県支部前代表／故人）
 - ②功労賞：a. 医療法人三永会理事長山崎正数（広島県）、b. 社会福祉法人旭川荘（岡山県）、c. 社会福祉法人弘徳学園（岡山県）
- 6). 全国協賛事業・街頭活動の実施
のぼり旗の活用、署名活動、などを全国各地で展開・アピール

マスコミ等との連携

- 1). 東日本大震災における被災地への適切な情報提供 ★
- 2). 運転免許に関する適切な情報提供 ★
- 3). 正しい知識の普及、当事者とその家族による理解促進
 - ①企業内研修への当事者とその家族の派遣（体験発表）
- 4). マスメディアと連携した取り組みの実施
 - ①NHK「ためしてガッテン」で高齢者のてんかんを放映
- 5). 記事、放送内容への働きかけと情報提供
 - ①東日本大震災、交通事故、テレビ番組などへの情報提供・声明発表
- 6). 第45回日本てんかん学会記念市民公開講座「てんかんと運転免許」の共同開催
 - ①開催日：10月8日（土）13時00分～15時30分
 - ②開催地：朱鷺メッセ「スノーホールB」
 - ③参加者総数：約200人
 - ④プログラム内容（講演）：「てんかん診療の進歩と課題」
「てんかん治療の基礎と最近の進歩」（笹川睦男）、「てんかんを持つ人の運転免許と就労」（松浦雅人）、「てんかん治療における医療連携」（本間一正、久保田英幹）

⑤主催：第45回日本てんかん学会、協会

迅速で適切な情報の提供

1. 「J E A 通信」の発行

- 1). 毎月発行（メールおよび印刷物として全国の関係者に配信）
- 2). 本部・支部間連絡リスト renraku-mlによる情報提供
- 3). FAX 通信も随時発行
- 4). 支部メーリングリスト jeamlでの意見交流

2. ホームページ(インターネット)の充実 ※ファイザー協賛事業

- 1). Home Page <http://www.jea-net.jp/> の更新/トップページへの年間アクセス数184,763HIT
- 2). オンラインでの入会申込みが増加(入会者134人/入会者全体の35%)

権利擁護活動

- 1). 全国各地から寄せられたSOSに随時対応

療育指導事業

てんかんに関する相談および支援

*ためしてガッテン関連は別に194件

- 1). 専門相談員による、電話相談・来所相談(本部では毎週3回/年間電話965件・面接8件)
- 2). 東日本大震災・災害支援対策本部と現地対策支援センターの設置 ★
- 3). 法に則った運転免許の適切な指導 ★
- 4). 支部・ブロックにおける相談活動の充実
- 5). ピアサポーターの育成、ペアレントメンター(家族同士の支援活動)への取り組み
- 6). 相談支援専門機関・団体との連携を模索
- 7). 日本てんかん学会との連携を推進
- 8). 「ぜんちのあんしん保険」の推奨
- 9). 社会保険労務士による「年金教室」開催の連携

地域における福祉保健・医療の向上を目的とした活動

- 1). てんかんに正しく理解する取り組み
- 2). 権利擁護活動の充実/ボランティアの育成、イエローリボンパッチ・リストバンドの普及活動
- 3). 救急車搬送の実態把握とあり方の検討
- 4). 各種社会福祉事業の立ち上げ・運営への取り組み(支部活動を中心に)
- 5). 地域における療育活動を推進し活動のネットワークづくりを推進(学会・医師会と連携)
- 6). てんかんのある人の自立生活プログラム ※東京都福祉保健財団助成事業(東京都支部実施分)

集団・個別療育指導活動

*国庫補助事業(全国財団経由)

- 1). キャンプの実施(14支部で全16回実施した)
- 2). 水泳教室やレクリエーション活動を各支部で行った

当事者グループ等の育成、自立・就労・社会参加への取り組み

- 1). 当事者組織委員会の実施
- 2). 「レクリエーションマニュアル」の作成・配布(A4版、20頁)
- 3). 各種交流集会の開催(全国支部活動者会議、全国大会、など)
- 4). メーリングリストによる情報・意見交換

見学・研修(当事者・家族・専門職・学生、など)への対応

- 1). 協会活動の紹介、参考文献・各種資料等の閲覧
- 2). てんかんに関する研修講師の派遣・紹介
- 3). 各種研修会を本部・支部において実施

- 4). ボランティア（研究者、専門職、マスコミ、一般市民など）による協力体制の拡充
- 5). 障害者や支援者の海外派遣事業への協力
- 6). 当事者の渡航、留学、来日などに対する援助

支部活動の充実・支援

- 1). 支部還付金の交付
- 2). キャンプ助成金の交付
- 3). 全国支部活動者会議およびブロック会議等の開催

東日本大震災への対応・支援

- 1). 災害支援対策本部の設置
- 2). 支援(金)募金の実施／支援金総額：7,857,435円(内、2011年度分 6,461,835円)
- 3). 会員安否確認およびてんかん医療や法制度の最新情報提供
- 4). 現地対策支援センターの開設、災害支援マニュアルの改定

「てんかんのある人の自立生活を支えるための事業-災害対策に向けた取り組み-」の実施

※独立行政法人 福祉医療機構助成事業

- 1). 企画委員会の開催（4回）
- 2). 被災地における情報収集活動（被災地東北3県の訪問、相談記録のまとめ、当事者アンケート調査の実施）、ブロック交流集会を開催（約50人参加）、災害支援活動パネル展示、座談会の実施、災害支援対策冊子(全36頁、10,000冊)および緊急カード(名刺大・蛇腹折り、10,000部)、事業報告書(A4版・本文58頁、1,000部)の作成・全国配布

「MOSES翻訳・出版事業」の実施 ★

※製薬企業5社からの協賛事業(*2010年度継続事業)

- 1). 学会と協働の企画委員会を発足
- 2). 当事者向けマニュアル(B5版・216頁・5,000部)を作成【再掲】

調査研究事業

創薬ボランティア活動の実施

- 1). 製薬企業との情報交換を行い、「波」誌上等で最新情報を提供
- 2). 関連学会と連携して、抗てんかん薬・開発治験促進の働きかけ
- 3). 難治てんかんの治療に用いられる特殊ミルクに関する要望活動、など

各種研修会の開催

- 1). 本部・支部において主催、共催、後援、協賛、協力のさまざまな形で実施
- 2). 内容は、相談活動、社会福祉事業の立ち上げ、支部運営など、さまざまである

各種調査・研究事業の実施と協力

- 1). 行政・関係機関・団体や大学関係者の調査研究に随時協力

国際活動の実施

- 1). 国際てんかん協会(IBE)日本支部としての活動
- 2). IBE会長、常務理事、事務担当理事の表敬訪問と意見交換会
 - ①日時：3月20日(火)17時～21時、②参加者：12人
 - ③会場：協会本部事務局、他
- 3). 東日本大震災復興支援てんかん国際シンポジウムの後援 ※日本てんかん学会、ILAE、IBE共催事業
 - ①日時：3月19日(月)、②参加者：約100人、③開催地：東京(千代田区)
- 4). 第9回アジア・オセアニアてんかん学会(AOEC)への参加
 - ①人数：6名の役職員と会員(当事者)を派遣 ※山内国際基金助成事業、久光ほっとハート倶楽部寄付金事業
 - ②開催地・期間：フィリピン(マニラ)・3月21日(水)～25日(日)

- ③内容：国際てんかん協会 (IBE) などと3つのミーティングを主催
- 5). Stand up for Epilepsy Photography project への参加 (ILAE/IBE)
 - ①日本テニス協会、日本相撲協会の協力 ※日本オリンピック委員会・日本体育協会協賛事業
 - ②プロテニスプレーヤー奈良くるみ選手、大相撲横綱白鵬関と当事者のマッチング写真撮影
- 6). IE NEWS日本語版の発行(再掲)
- 7). アジア近隣諸国(韓国、台湾、など)を始め諸機関・団体との情報交換・交流
- 8). 山内国際基金の運営(アジア・オセアニア地域との交流目的が中心) ※山内俊雄監事提唱事業
- 9). 国際委員会の実施

専門職種に対するスキルアッププロジェクトの実施

※大塚製薬・ユーシービージャパン協賛事業

- 1). 看護師教育の推進準備

情報提供機能の充実

- 1). 関連する図書・資料の整備・充実
- 2). 国内外の最新情報の確保・提供
- 3). インターネットを活用したシステムの検討を実施
- 4). インターネット委員会の実施

その他の事業

第38回全国大会(岡山大会)の開催

※グラクソ・スミスクライン、他協賛事業

- 1). 日 時：11月26日(土)12時30分～27日(日)11時30分
- 2). 会 場：さん太ホール、山陽新聞社本社ビル
- 3). 内 容：特別企画「トーク」／あさのあつこ、他「人と物語と生きること」
記念講演／大塚頌子／「てんかんとともに生きる」
オープニング、開会式・記念式典、当事者交流会、懇談会、分科会、個別相談
会、保育、市内観光、閉会式、など
- 4). 参加者数：2日間延べ900人
- 5). スペシャルゲスト：アルゼンチン共和国駐日大使ご夫妻

関連法制度改正に伴う諸制度の改革・改善への取り組み

- 1. 施策推進・意見表明
 - 1). 基幹施設(てんかんセンター)の開設・整備の促進
 - 2). 専門医・専門医療体制の整備・充実
 - 3). 障害者自立支援法に変わる新たな障害者総合福祉法(仮称)の整理
 - 4). 国連・障害者権利条約の批准と障害者基本法改正
 - 5). 障害者差別禁止法と障害者虐待防止法の議論
 - 6). 所得保障制度・障害年金制度の見直し(診断書様式等)
 - 7). 精神障害者保健福祉手帳のサービス拡大の調整活動
 - 8). 就業支援施策の拡充
 - 9). 学校教育施策
 - 10). その他
- 2. 請願署名活動・全国要望行動の実施
 - 1). 請願署名活動の実施
 - ①6項目に再構成した要望書で実施(署名用紙42,500枚)
 - ②署名総数：98,760筆、募金総額：1,035,632円
 - ③「てんかんのある人の医療と福祉の向上を求める集会」
実施日：5月30日(月)10時～13時
会 場：衆議院第二議員会館「第2会議室」
参加者：国会議員(6名)、議員秘書(22名)、協会関係者(30名)
請願提出：紹介議員54名
 - 2). 前回、衆参両院にて採択された全項目の具体的実現に向けた要望行動を実施

- 3). 市区町村への要望活動の全国展開に向けた準備
3. 制度見直しへの意見・対応
- 1). 議員・議会への働きかけ
 - ①民主党障がい者ワーキングチーム
 - ②国連障害者の権利条約推進議員連盟
 - ③こころの健康推進議員連盟
 - ④各政党への要望活動、等
 - ⑤地方議員・議会
 - 2). 各種委員会・研究会等の傍聴と意見提出
 - ①福祉制度
 - a. 障がい者制度改革推進会議（総合福祉部会などを含む）
 - ②医療・医薬品
 - a. 医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議
 - b. 厚生科学審議会疾病対策部会難病対策委員会
 - ③労働政策
 - a. 労働政策審議会・障害者雇用分科会
 - b. 障害者雇用促進制度における障害者の範囲等の在り方に関する研究会
 - c. 地域の就労支援のあり方に関する研究会
 - 3). 「波」論説委員会の開催／機関誌「波」誌上に、毎月協会の主張をさまざまな視点から会員などに適切に伝えた。
 - 4). 福祉施策検討委員会の開催、教育保健委員会の開催／福祉、医療、労働の各施策に対する意見表明、東日本大震災対策への要望、警察庁局長・課長通知に関する要望書など、各種法制度の見直し時に意見の提出を行った。また、関係団体等の各種集会に参加し、関係機関に対する意見表明を行った。

組織強化・拡大に向けた取り組み

1. 委員会活動の実施
 - 1). 協会組織のあり方検討委員会
 - 2). 新公益法人制度への移行に関する準備
 - 3). 組織活性化委員会
 - 4). 日本てんかん学会・日本てんかん協会合同会議（年2回）
2. 機関誌「波」を拡げよう運動
 - 1). 「波」を読もうチラシの作成・配布
 - 2). 「てんかん月間」における会員獲得強化運動の実施
 - 3). 病院の待合室に「波」をおいてもらおう運動の準備
3. 支部・ブロックの活性化 ※アステラス製薬患者会支援事業
 - 1). 「第28回全国支部活動者会議」（てんかん運動リーダーセミナー）の開催
 日時：5月28日（土）～29日（日）
 会場：TKP品川カンファレンスセンター
 内容：基調報告、新公益法人制度改革の概要説明、分科会（3テーマ）。
 - 2). 「ブロック会議」、「ブロック大会」の開催

《ブロック会議》

①北海道ブロック会議(全道世話人会)	3月25日	(札幌市)
②東北ブロック会議	10月10日	(盛岡市)
③関東	6月25日～26日	(宇都宮市)
④中部	10月2日	(四日市市)
⑤近畿	7月10日	(大阪市)
⑥中国	3月3日	(岡山市)
⑦四国	6月18日～19日	(高知市)
⑧九州	6月18日～19日	(大分県湯布院市)

《ブロック大会》

①東北ブロック大会	10月9日	(盛岡市)
②北越ブロック大会	7月9日～10日	(新潟県妙高市)

- 3). アステラス・スターライトパートナー「ピアサポーター」養成研修への参加
全国各地で開催された初級・中級研修会に、各支部からも積極的に参加した。

関係機関・団体との連携

1. 関係団体への加盟

- 1). 国際てんかん協会 (IBE)
- 2). 全国心身障害児福祉財団 (全国財団)
- 3). 全国社会福祉協議会・障害関係団体連絡協議会 (全社協・障連協)
- 4). 全国病弱・障害児の教育推進連合会 (病障連)
- 5). 日本障害者協議会 (JD)

2. 関係する学会との連携

- 1). 日本てんかん学会
- 2). 日本てんかん外科学会
- 3). 日本小児神経学会
- 4). 日本精神神経学会
- 5). 日本神経学会
- 6). 日本精神科救急学会
- 7). 日本脳神経外科学会
- 8). 日本発達障害学会
- 9). その他、必要に応じて関係する学会と連携をした

3. 関係する団体等との連携

- 1). 日本障害フォーラム (JDF)
- 2). 日本障害者リハビリテーション協会
- 3). 全日本手をつなぐ育成会
- 4). 日本発達障害福祉連盟
- 5). 日本発達障害ネットワーク (JDDネット)
- 6). 全国精神保健福祉会連合会 (みんなねっと)
- 7). 全国精神障害者就労支援事業所連合会 (旧全国職親会)
- 8). 日本難病・疾病団体協議会 (JPA)
- 9). きょうされん
- 10). ヘルスケア関連団体ワークショップ
- 11). J-PALS・患者支援団体サミット
- 12). 日本製薬工業協会・患者会連携チーム
- 13). 米国研究製薬工業協会・患者団体支援プログラム
- 14). てんかん治療研究振興財団
- 15). 東京都神経科学総合研究所 (東京都医学研究機構)
- 16). その他、必要に応じて関係する団体等と連携をした

4. 関係するてんかん機関病院等との連携

- 1). 国立精神・神経医療研究センター病院・てんかんセンター
- 2). 静岡てんかん・神経医療センター
- 3). 山形病院てんかんセンター
- 4). 西新潟中央病院てんかんセンター
- 5). 宇多野病院
- 6). 東京女子医科大学
- 7). その他の医療機関

5. 障害児・者父母団体地域指導者養成研修会への協力

※全国財団主催事業

- 1). 弥彦競輪場 (新潟県)、2). 富山競輪場 (富山県)、3). 広島競輪場 (広島県)、
- 4). 高松競輪場 (香川県)、5). 別府競輪場 (大分県)

各ブロックにおいて会員が参加し他団体代表者との交流を深め、協会の活動紹介を行った。

学会・協会合同会議の開催

1). 第4回会議

- ①日 時：9月11日 (土) 13時00分～15時00分

- ②会 場：協会本部事務局会議スペース(東京)
 ③出席者：(学会)10人、(協会)7人
 2). 内 容：地域医療のあり方、組織・事業の連携、今後の協議テーマ、その他

組織・管理

各種会議の開催

- 1). 総会
 日時：5月29日(日) 13時～16時
 会場：TKP品川カンファレンスセンター
 内容：2010年度事業報告、2010年度会計報告、2011年度事業計画、2011年度会計予算、
 新公益法人制度への移行
- 2). 理事会(第184回～第188回)
 ①5月28日、②9月10日～11日、③11月27日、④1月28日～29日、⑤3月17日～18日
- 3). 常任理事会(理事会に併設開催)

委員会活動(*常設の委員会のみ) 【再掲】

- 1). 「波」編集委員会
- 2). 「波」論説 //
- 3). インターネット //
- 4). 協会組織のあり方検討 //
- 5). 基礎講座企画 //
- 6). 国際 //
- 7). 創薬ボランティア //
- 8). 組織活性化 //
- 9). 当事者組織 //
- 10). 福祉施策検討 //
- 11). 教育保健 //

法人の管理

- 1). 法人登記
- 2). 会員管理
- 3). 協会諸規程・規則・内規等の整備
- 4). 職員の人事・労務管理(※事務局会議等の開催)
- 5). 各種表彰等の推薦事務手続き
 ①朝日社会福祉賞、②ヤマト福祉財団・小倉昌男賞、他
- 6). 厚生労働省法人概況調査、などへの対応
- 7). 郵政事業会社低料第三種郵便物定期調査、などへの対応
- 8). 新公益法人制度への移行の検討(※現在は暫定的に「特例民法法人」)

財務・会計業務

- 1). 一般会計および特別会計の適正処理
- 2). 中長期の財務計画の策定
- 3). 公認会計士による公益法人会計処理の指導
- 4). 新公益法人会計基準の完全適応化
- 5). 会費納入制度の新システム導入に向けた検討開始
- 6). 固定資産の時価適性評価

加盟団体・関係団体との連携

- 1). 前述の「その他の事業」で掲載した取り組みを行った。(再掲)